

日本学童保育学会 第11回研究大会

第11回研究大会は、新潟県立大学にて開催されることになりました。本来は2020（令和2）年度に開催予定だったものを2021（令和3）年度に延期しての開催です。とはいえ、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束に見通しがたたないことから、対面式の開催を断念して本学会初となる非対面式のWeb開催とすることになりました。大会実行委員会としては、皆様に新潟へお越しいただくことを楽しみにしておりましたが、気持ちを切り替えて、Web開催のメリットを活かせるよう準備を進めてまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた政府による全国の小中高特別支援学校への対応は、学童保育現場へも大きな影響を及ぼすとともに、さまざまな課題も浮き彫りになりました。子どもの最善の利益とは何か、学童保育学の立場からあらためて問い直すタイミングでもあるようです。

なお、開催内容や変更等に関する情報については、「第11回研究大会専用Webサイト」を開設しましたので、学会ホームページからご確認いただきますようお願い申し上げます。

日本学童保育学会 第11回研究大会 実行委員会
大会実行委員長 植木 信一

■日 時：2021年6月19日（土）10時00分～
・ 20日（日）10時00分～

■会 場：Web開催
（配信本部：新潟県立大学）

主催：日本学童保育学会

後援：新潟県（申請中）、新潟市（申請中）、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会（申請中）

■日 程

6月19日(土)[第1日目]

9 : 3 0 ~ Zoomへの入室開始 (大会1日目)

1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0 自由研究発表 I ・ II (予定)

1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0 自由研究発表 III ・ IV (予定)

- ・ 一つの発表当たりの発表時間は、個人研究 (発表 2 0 分、討議 1 0 分)、共同研究 (発表 3 0 分、討議 1 5 分) を予定しています。
- ・ 発表希望者は、後述する「自由研究発表申し込み方法」をご覧ください。
- ・ 分科会は、自由研究発表の申し込みテーマ・数をふまえ、学会事務局にて設定します。

- ・ 自由研究発表 I ・ II (予定) および自由研究発表 III ・ IV (予定) は、それぞれ同時進行とします。
- ・ Zoom を使用して、リアルタイム開催とします。
- ・ 自由研究発表に入室していただくための Zoom の URL 等は別途ご案内します。
- ・ 発表者のみビデオをオンにしてもらい、その他の参加者はオフにしてください。
- ・ 発表レジュメ資料は、大会専用 Web サイトに掲載した大会プログラムを参照してください。

1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 あいさつ・総会・理事選挙

6月20日（日）[第2日目]

9：30～ Zoomへの入室開始（大会2日目）

10：00～10：20 理事選報告

10：20～10：30 あいさつ

10：30～12：30 課題研究 I

コロナ禍で学童保育は何を求められどう対応したか

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止対策として、小学校が2020（令和2）年3月初旬から一斉に臨時休校となり、学童保育は逆に原則開所することになったことは記憶に新しい。小学校が臨時休校したことに合わせて、政府は学童保育の開所を都道府県に要請したが、そうした要請から学童保育の実施までにわずか数日間しかなかったため、学童保育現場からマンパワー不足が懸念された。今回の出来事で、小学校が臨時休校になっても学童保育は開けるという前例ができたことになる。しかし、普段の基準と非常時の基準には乖離があり、とくに非常時の安全・安心な居場所となるための基準が不十分だったことも明らかになった。今回の状況によって明らかになった国の基準の脆弱さを認識し、非常時であっても対応可能な学童保育の基準を再度、検討しなおすタイミングでもある。何より、指導員も普段とコロナ禍とのジレンマを実感したのではないだろうか。

そこで、実際の学童保育現場における対応の実際について、首都圏の学童保育からの報告と、地方都市の学童保育からの報告をいただき、あらためてコロナ禍における課題と現場における工夫について情報を共有する。

【報告1】

首都圏の学童保育からの報告

堀江 恵理子（立場学童保育所はればれクラブ（横浜市））

【報告2】

地方都市の学童保育からの報告

青木 理絵（福島県南相馬市鹿島児童クラブ）

【コメンテーター】

鈴木 瞬（金沢大学）

【司会・コーディネーター】

植木 信一（新潟県立大学）

**発達的な困難さをもつ子どもへの発達援助と学童保育実践
ー 感情制御の力の獲得の問題に視点をあてて**

大河原美以（2015）は次のように述べている。（「子どもの感情コントロールと心理臨床」日本評論社）
「子どもの心が健全に育つための基本は一つに集約できる。それは「不快感情（不安・恐怖・怒り・悲しみなど）を安全に抱える力」を獲得できているかどうか、という点である。そして、それは「子どもが困ったときに親を見ると安心する」という関係性の中で育つ力である。」

しかし、今日、コロナ禍の影響とも相俟って、多くの家族の生活基盤が脅かされており、養育者が心身ともに追い詰められ、子どもとの適切なアタッチメント（愛着）の関係を通して子どもの心に安心感・安全感を届けることが困難な状況が生じてきている。

それと同時に、養育者自身も虐待的な養育環境で育っていたり、ASDなどの発達特性の問題を抱えており、そのために我が子の不快な感情に敏感に応答していくことが困難な事例も存在している。

それだけに、養育者自身がわが子の感情に対する敏感性を取り戻せるように支援するだけでなく、学童保育の指導員が子どもとの確かなアタッチメント（愛着）の関係を通して、子どもの心に安心感・安全感を育んでいくことも、子どもへの発達援助における重要な実践課題となっている。

本課題研究では、二人の実践家からの事例報告を踏まえて、何らかの要因によって感情制御の力の獲得に困難さをもつ学童期の子どもの発達援助と学童保育実践の課題を明らかにしていきたい。

【基調報告】

感情制御の力の獲得に困難さをもつ子どもへの発達援助と学童保育実践

楠 凡之（北九州市立大学）

【実践報告1】

アタッチメント形成と感情制御の困難さを持つ児童への理解と支援（仮題）

福岡県 元学童保育指導員の方からの報告

【実践報告2】

深刻な体罰に曝されてきた学童保育児童に対する取り組み（仮題）

大阪府 学童保育指導員の方からの報告

【コメンテーター】 未定

■ 大会参加申し込みについて（締め切り 6月14日（月））

● 大会参加費

- 会員 3,000円
- 非会員 4,000円（2日目のみ参加 3,000円）
- 学生会員 2,000円

● 大会参加申し込み方法

大会参加申し込み方法、大会参加費払込方法については、
後日に掲載予定の「第11回研究大会専用 Web サイト」にて
別途案内します。

■ 自由研究発表申し込みについて（締め切り5月14日（金））

● 参加要件

- ・ 自由研究発表者は、日本学童保育学会会員（入会申請中も可）であることが要件となります。現在会員でない方で自由研究発表を希望する場合は、発表申し込みとあわせて入会申し込みをしてください。（入会申し込みについては、日本学童保育学会事務局にお問い合わせください。入会案内・規約・申込書等は公式ホームページでも入手できます。）

● 自由研究申し込み方法

自由研究発表申し込み方法については、
後日に掲載予定の「第11回研究大会専用Webサイト」にて
別途案内します。

● 原稿について

- ・ 自由研究発表者には、『発表要旨集』（PDF）に掲載する原稿を作成・提出いただきます。執筆要領は、後日申し込み代表者にお知らせいたします。
- ・ 原稿締め切り：**2021年5月28日（金）必着**（A4判1頁1，500字程度）